

はにい『わたしたちの「米作り」』 令和元年10月16日

「お米さん頑張って！」「元気に育ってね」一年生の元気な声が飛び交っています。

この小学校では、米作りに関わる工程「種まき」「田ならし」「田植え」「草取り」「かかし立て」「稲刈り」「稲運び」「脱穀」などを各学年で役割分担し1年間を通して、全学年が米作りに取り組みます。育てているのは「もち米」です。

1年生は、先生の「お米にどんな言葉をかけたいかな」という問いかけに考えを巡らせています。

朝顔を育てた経験から、小さな苗が無事に成長するように願いを込めた発言が目立ちます。先生は「お米とどんな話をしようか」と少し問いを変えてみました。

「たくさん実をつけてね」、稲から、米に意識が変わります。

「おいしく食べてあげるね」、あっという間に食べている自分たちを想像しています。

そして、「お米さんありがとう」の声、ここから初めての「米作り」が始まっていきます。

5年生は「私たちの米作り」という教材を用いて「なぜ、私たちの小学校は米作りをしているのか」を考えています。泥だらけになったり、虫から逃げ回ったりして「米作り」の厳しさを体験した5年生は、「食べなければ生きてはいけないから」「今まで受け継がれてきたことを絶やしてはいけないから」「地域のひとも大切にしているから」と様々な面から米作りに向き合っていました。



毎年1年間の「米作り」の最後は盛大な餅つき大会。米作りに協力していただいている方々をはじめ、多くの地域の方々が参加し、「感謝」と「笑顔」があふれるそうです。

『はにい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合いましょう。